



所属ニュース・業務紹介・刊行誌

地域の子どもたちが安全・安心して遊び・触れ合うことのできる河川環境の実現に向けた取組現場を訪ねて ～「中部くるまざ会」を開催しました～

建設支援局建設技術企画課

建設技術監理センターでは、協働による地域づくりの普及啓発を図るため、地域の社会課題の解決に向けて、計画段階から幅広い世代の方々が参画し、協働に取り組んでいる現場を訪問し、意見交換を行う研修会「くるまざ会」を県内4会場において実施しています。

第1回目(11月22日)の訪問先である二級河川瀬戸川の寺島地区では、官民の協働により設立した「瀬戸川子どもの水辺協議会」が中心となり、子どもたちが四季を通じて安全に遊び、学ぶことのできる河川体験の拠点として、河川環境の整備・運用が行われています。

当日は、行政機関、NPO、大学等からの参加者(計24名)が、協議会の関係者から取組内容や瀬戸川とともに歩んだ地域の歴史文化の説明を受けた上で、「地域特性を踏まえた川のマネジメント」をテーマとした意見交換を行いました。

意見交換において、皆が集う川を実現するためには、地域の歴史文化において川がどのような関わりを持ってきたのかを理解した上で、地域と行政が一体となって川づくりを進めていくことが重要である、との意見が多く出ました。

【くるまざ会の様子】



取組内容の説明



堤防上に祀られている馬頭観音の説明



意見交換

【問合せ先】 建設技術企画課 技術支援第1班

【電話番号】 054-268-5003

